

米中対決の今後を予測（シンポジウム開催報告）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大野, 旭 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027195

第 二 部

シンポジウム開催報告

アジア研究センターは2019年度において、以下二つのシンポジウムを開催した。

まず、2019年9月27日に東京・銀座ブロッサムにおいて、産経新聞社・月刊「正論」と「米中対決の今後を予測」を共催の形でおこなった。こちらにはセンター長の**大野旭**（楊海英）の他、麗澤大学特別教授・**古森義久**氏と産経新聞論説委員・**阿比留瑠比**氏がパネラーとして登壇した。およそ500人以上の聴衆を前に、米中対立の歴史と現状について分析し、今後の展望について議論しあった。

産経新聞社 月刊「正論」、静岡大学人文社会科学部アジア研究センター 共催

米中対決の今後を予測

一挙手一投足が世界を動かす米国と中国。その2カ国が繰り広げる覇権争いは今後、どのような展開を見せるのか。そして、米中の狭間にある日本はどう動くのか。3人の論客が鋭く切り込みます。

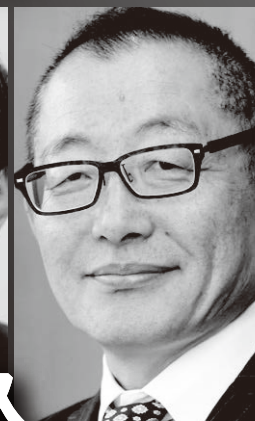
産経新聞論説委員、政治部編集委員

阿比留瑠比



古森義久

麗澤大学特別教授
産経新聞ワシントン駐在客員特派員



楊海英

静岡大学教授

司会 **田北真樹子**
(月刊「正論」編集長)

来場者募集

日時 **令和元年9月27日(金)** 午後6時受付開始、7時開会、
8時40分閉会予定

会場 **銀座ブロッサム** (中央区銀座2-15-6)

【アクセス】 東京メトロ有楽町線「新富町駅」1番出口 徒歩1分 / 日比谷線「東銀座駅」5番出口 徒歩6分
都営地下鉄浅草線「東銀座駅」5番出口 徒歩6分

チケット料金 前売り 2,000円 / 当日 2,500円 (税込み)

共催 産経新聞社 月刊「正論」、静岡大学人文社会科学部アジア研究センター

お問い合わせ 産経新聞社 正論調査室 TEL 03-3243-8454 (平日10時~18時)

チケット購入方法 定員900名に達し次第締め切り(全席自由)

① **インターネット** 「産経iD」と検索し、産経新聞社のイベント情報サイト「産経iD」HP (<https://id.sankei.jp/>) より会員登録をした後、サイトの案内に従い、お申込みをお願いします。なお、チケット代お支払いにはクレジットカード情報の登録が必要です。決済確認後、チケットを郵送します。(「産経iD」に関するお問い合わせ先 ☎0570-033-433)

② **はがき・ファクス・メール** 「シンポジウム参加希望」と明記の上、郵便番号、住所、氏名、電話番号、チケット希望枚数を下記のいずれかの方法にてお知らせください。お支払い方法のご案内をお送りします。ご入金確認後、チケットを発送いたします。

【はがき】〒100-8077 (住所不要) 産経新聞社正論調査室「シンポジウム」係

【ファクス】03-3241-4281 【メール】seironevent@sankei.co.jp 表題に「シンポジウム参加希望」

アジア研究センターは2020年2月29日に静岡新聞・静岡放送の後援を得て、静岡市葵区サルナートホールにて「アジア海洋シンポジウム—アラル海とサクラエビ」と題するシンポジウムを開催する予定であった。その後、新型コロナウイルス（武漢肺炎）の騒動により、中止となった。



登壇者

西谷公明氏

(「ユーラシアダイナミズム」著者)

楊海英氏

(静岡大学人文社会科学部
アジア研究センター)

坂本昌信氏

(静岡新聞「サクラ
エビ異変」取材班)

アジア海洋シンポジウム

アラル海とサクラエビ

— ユーラシアと日本における環境問題 —

2月29日(土)14時~18時

サルナートホール メインホール (静岡市葵区御幸町11-14)

参・加・無・料

事前申し込み制

(氏名と所属、連絡先を明記)

締め切り / 2月24日(月)

定員 / 150人

— 問い合わせ・申し込み —

静岡大学人文社会科学部

アジア研究センター

asiacenter@suml.cii.shizuoka.ac.jp

主催 / 静岡大学人文社会科学部アジア研究センター

後援 / 静岡新聞社・静岡放送